管内ＪＡ　17年度純利益70億円　道内全体の４割超
士幌が全道一　今年度は減少か

2018年10月25日

農作物が記録的な豊作となった2017年度の管内24ＪＡの純利益（当期剰余金）が、16年度比2.4倍の70億8400万円に達したことがＪＡ北海道中央会の集計で分かった。純利益は事業主体の最終的なもうけを示す。管内分は全道108ＪＡの合計額（164億500万円）の43％を占め、収益力の高さが際立った。ただ、18年度は小麦などの作柄悪化で純利益が減少に転じる恐れがある。

道内JA主要指標ランキング

JA名	地区	金額（万円）
当期剰余金		**2017年度**
❶士幌町	十勝	13億9761
②ふらの	上川	7億7181
③きたみらい	オホーツク	6億9352
❹中札内村	十勝	6億3292
❺めむろ	十勝	6億2801
❻幕別町	十勝	4億8770
❼帯広かわにし	十勝	4億8571
❽おとふけ	十勝	4億4994
❾鹿追町	十勝	4億4479
⑩さっぽろ	石狩	3億2315
十勝24ＪＡ合計※		70億8479
全道合計※		164億0511
※は当期剰余金と損失金を差し引きした純利益		
販売支払高		**2017年度**
①きたみらい	オホーツク	434億7072
②道東あさひ	根室	428億3801
❸士幌町	十勝	404億2978
④新はこだて	道南	300億1457
⑤ふらの	上川	262億4503
❻めむろ	十勝	254億6556
❼十勝清水町	十勝	248億6253
❽帯広かわにし	十勝	237億3247
⑨しべちゃ	釧路	231億5718
❿上士幌町	十勝	208億4980
十勝24ＪＡ合計		3217億6100
全道合計		1兆0648億9200

（注）生乳補給金などを含まない

純利益は黒字を確保した域内ＪＡの当期剰余金の合計から、赤字だったＪＡの当期損失金を差し引いて算出。17年度に損失金を計上したのは全道で１ＪＡのみで、当期剰余金の合計額は純利益とほぼ一致する。

ＪＡ別の17年度の剰余金ランキングでは、ＪＡ士幌町が13億9700万円で全道一。上位10ＪＡには、ＪＡ中札内村、ＪＡめむろなど管内７ＪＡが入った。

この結果、管内24ＪＡの純利益は台風被害が深刻だった16年度の30億1100万円から急増。全道合計額に占める比率も16年度の23％から約20ポイント上昇した。

税負担が一時的に軽くなったケースなどはあるが、17年産の農畜産物の管内ＪＡ取扱高が過去最高となったことが、各ＪＡの利益を押し上げた。小麦やビートなど畑作が急回復した。乳価の増額や堅調な子牛相場を受けて、酪農・畜産も伸びた。

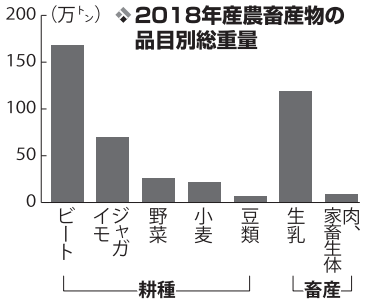
17年度はＪＡ別の農畜産物の販売支払高でも、ＪＡ士幌町（404億2900万円）を筆頭に、管内５ＪＡが全道トップ10に入った。管内合計額は3217億6100万円と前年度から９％増加。全道総額（１兆648億9200万円）に占める比率は30％だった。

ただ18年産は小麦が初夏の天候不順で振るわず、平年並みの作柄となりそうなビートなども17年比では収量が落ちる見通しだ。18年度の管内ＪＡの純利益を下押しする可能性がある。

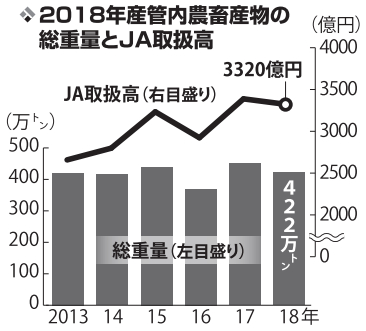
農業ガイド1188号
422万トン　過去３番目　耕種の減少　畜産が補う
管内18年産総重量

2019年1月12日

十勝管内の2018年産農畜産物の総重量は、前年比６％減の約422万トンとなった。記録のある13年以降では、管内ＪＡ取扱高が3000億円を超えた17年（450万トン）、15年（440万トン）に次ぐ３番目の水準となっている。



2018年産農畜産物の品目別総重量



2018年産管内農畜産物の総重量とJA取扱高

ホクレン帯広支所が推計した。総重量は収量を示し、ビートや生乳、ジャガイモなどの重さのある品目が好調だと大きくなりやすい。

昨年の取扱高は3320億円で史上２番目だったものの、総重量は取扱高が3233億円だった15年産を下回った。畜産が堅調だったが、６月以降の天候不順で耕種（畑作）が伸びなかったことが影響した。取扱高が3388億円で過去最高だった17年は重量も最多。

耕種全体では前年比10％減の約293万6000トン。夏場の長雨、低温、日照不足の影響を受けて各作物とも軒並み収量を落としたが、重量のあるビートが平年作となり、落ち込みを最小限にとどめた。小麦と豆類はそれぞれ18％減で、最も下げ幅が大きい。小麦は約22万トンで平年と比べても１割以上少なかった。

好調が続く畜産部門は３％増の約128万5000トン。このうち生乳は４％増の119万トン。17年産の自給飼料の質が良く、規模拡大で乳用牛が増えているため、生産量も増加している。

牛肉や豚肉、家畜生体の合計は９万5000トンで１％増。牛肉のみでは３％増の２万7200トンで、底堅い需要を背景に和牛や交雑牛の生産が伸びている。